

請願委員

第一部	赤尾 敏君	有馬 英治君
第二部	小野 義一君	石樽 敬一君
第三部	小田彦太郎君	大島 寅吉君
第四部	大野 一造君	大橋清太郎君
第五部	加藤 宗平君	岸井 壽郎君
第六部	北村又左衛門君	小篠雄二郎君
第七部	佐々井一晁君	庄司 一郎君
第八部	薩摩 雄次君	鈴木 忠吉君
第九部	鈴木 重次君	田中 藤作君
第十部	菅又 薫君	田村 稔君
第十一部	宗前 清君	遠山 暉男君
第十二部	田中和一郎君	中川 寛治君
第十三部	田邊徳五郎君	林 佳介君
第十四部	頼母木真六君	坂東幸太郎君
第十五部	中村又七郎君	二田 是儀君
第十六部	永山 忠則君	星 一君
第十七部	野田 正昇君	森田 正義君
第十八部	橋本 祐幸君	吉田 正君
第十九部	廣野規矩太郎君	吉田 大介君
第二部	深水 吉毅君	吉田 茂太郎君
第三部	星 一君	吉田 正君
第四部	森田 正義君	吉田 正君
第五部	吉田 大介君	吉田 正君
第六部	吉田 大介君	吉田 正君
第七部	吉田 大介君	吉田 正君
第八部	吉田 大介君	吉田 正君
第九部	吉田 大介君	吉田 正君
第十部	吉田 大介君	吉田 正君
第十一部	吉田 大介君	吉田 正君
第十二部	吉田 大介君	吉田 正君
第十三部	吉田 大介君	吉田 正君
第十四部	吉田 大介君	吉田 正君
第十五部	吉田 大介君	吉田 正君
第十六部	吉田 大介君	吉田 正君
第十七部	吉田 大介君	吉田 正君
第十八部	吉田 大介君	吉田 正君
第十九部	吉田 大介君	吉田 正君
第二十部	吉田 大介君	吉田 正君

第一部	江口 繁君	小笠原八十美君
第二部	大石 大君	木下 郁君
第三部	大村 直君	篠原 陸朗君
第四部	藤井伊右衛門君	中谷 武世君
第五部	小松茂藤治君	原口 純允君
第六部	田中伊三次君	星島 二郎君
第七部	高梨 乙松君	宮澤 裕君
第八部	中笠半左衛門君	八並 武治君
第九部	橋橋 渡君	新井 堯爾君
第十部	濱野 清吾君	紀藤 常亮君
第十一部	日下田 武君	齋藤 憲三君
第十二部	松永 東君	田下 政治君
第十三部	牧野 良三君	中 助松君
第十四部	守屋 榮夫君	南郷 武夫君
第十五部	山中 義貞君	
第十六部	渡邊 泰邦君	
第十七部	建議委員	
第十八部	安藤 覺君	
第十九部	加藤 七郎君	
第二部	菅野和太郎君	
第三部	菊地養之輔君	
第四部	小浦 總平君	
第五部	齊藤 正身君	
第六部	酒井 利雄君	
第七部	田万 清臣君	
第八部	竹内 俊吉君	
第九部	南郷 武夫君	

第六部 濱田 尚友君 福田 重清君
 第七部 古田喜三太郎君 本多 鋼治君
 第八部 別所喜一郎君 鋼治君
 第九部 本領信治郎君 鋼治君
 第十部 星野靖之助君 松岡 秀夫君
 第十一部 前川 正一君 山崎 常吉君
 第十二部 水谷長三郎君 山崎 常吉君
 第十三部 由谷 義治君 山崎 常吉君

○副議長(内ヶ崎作三郎君) 只今御報告致シマシタ常任委員ニ當選セラレタル諸君ハ、休憩後各委員室ニ御参集ノ上、委員長及ビ理事ヲ互選セラレ、其ノ結果ヲ御届ケアランコトヲ望ミマス——御諮リ致シマス

本會期中
 一、本會議日、質問日ハ別ニ之ヲ定メズ
 議長ニ於テ隨時決定シ得ルコト
 二、本會議中委員會ノ開會許可ハ議長ニ於テ之ヲ爲シ得ルコト
 三、法律案ノ上程ニ成規ノ日時ヲ要セザルコト
 右執レモ御異議アリマセヌカ
 (「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)
 ○副議長(内ヶ崎作三郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ其ノ通り決シマシタ、暫時休憩致シマス
 午後二時三十八分休憩
 午後四時二十二分開議
 ○議長(岡田忠彦君) 休憩前ニ引續キ會議ヲ開キマス、内閣總理大臣ヨリ發言ノ通告ガアリマス——内閣總理大臣東條英機君國務大臣ノ演説
 (國務大臣東條英機君登壇)
 (赤尾敏君「一言總理大臣ニ申上ゲマス、此ノ重大ナル……」ト呼ビ議場騒然)

○議長(岡田忠彦君) 靜肅ニ——靜肅ニ
 (赤尾敏君「會期三日トハ少イデハアリマセヌカ……」ト呼ビ議場騒然)
 (赤尾敏君「而モ吾々ハ……」ト呼ビ其ノ他發言スル者多シ)
 ○議長(岡田忠彦君) 赤尾君、發言ヲ止メマス
 (「退場々々」ト呼ビ其ノ他發言スル者多シ)
 ○議長(岡田忠彦君) 赤尾君ノ退場ヲ命ジマス——赤尾君ノ退場ヲ命ジマス
 (赤尾敏君「吾々ハ一切……」ト呼ビ「退場ヲ命ジロ」赤尾君、退場セヨ「其ノ他發言スル者多シ」)
 ○國務大臣(東條英機君) 本日開院式ニ當リマシテハ、特ニ優渥ナル 勅語ヲ賜ハリ、洵ニ恐懼感激ニ堪ヘナイ次第デアリマス、私ハ諸君ト共ニ謹ンデ 聖旨ヲ奉戴シ、全力ヲ擧ゲテ戰時下重大ナル職責ノ遂行ニ當リ、速カニ戰争目的ヲ達成シ、以テ 聖慮ヲ安ンジ奉ランコトヲ深ク期スルモノデアリマス
 大東亞戰爭勃發以來正ニ一年有半、皇軍將兵ハ 御授威ノ下廣大ナル戦域ヲ占領確保シ、愈、敵ヲ殲シ、癡癡ト闘ヒ、寒暑ヲ冒シ、風浪ニ抗シ、凡ユル困難ヲ克服シテ戰果ヲ加ヘテ居ルノデアリマス、私ハ茲ニ諸君ト共ニ思ヒテ遠ク前線ニ馳セ、忠勇無比ナル皇軍將兵ノ不斷ノ辛苦ト善謀勇戰トニ對シマシテ、心カラ感謝ノ誠ヲ捧グルモノデアリマス(拍手)
 而シテ此ノ戦果ヲ擧グル爲ニ、幾多ノ勇士ハ大君ノ御柙トシテ戰場ノ基ト散リ、護國ノ神トナラレテ居ルノデアリマス、殊ニ山本聯合艦隊司令長官ノ南方最前線ニ於ケル壯烈ナル戦死、又山崎部隊長以下將兵ノ「アツツ」鳥ニ於ケル悲壯ナル玉碎ハ、強ク我等國民ノ胸ヲ打ツタノデアリマス(拍手)
 悠久ノ大義ニ生キ、壯烈鬼神ヲ哭カシメル幾多忠勇烈烈ノ將兵ノ最期ニ思ヒテ政シ、日本國民タル者、誰一人トシテ是等勇士ニ

續カント激起セザル者ハナイノデアリマス
(拍手)敵ヲ擊滅セズンバ止マザルノ覺悟ヲ
愈新タニセザル者ハナイノデアリマス(拍
手)是等ノ勇士アリ、又是等ノ勇士ニ續ク者
アレバコソ大東亞戰爭ハ必ズ勝ツノデアリ
マス(拍手)私ハ茲ニ諸君ト共ニ、山本元帥
ヲ初メ忠勇ナル戰歿將兵ノ偉大ナル勳功ヲ
偲ビ、哀悼ノ誠ヲ捧グルト共ニ、只管英
擊推ノ一路ニ邁進シ、以テ勇士ノ忠靈ニ應
ヘンコトヲ誓フ次第デアリマス(拍手)

尙ホ此ノ機會ニ於キマシテ、私ハ諸君ト
共ニ戰傷病將兵ニ對シ、速カニ再起御奉公
ノ日ノ來ラシコトヲ祈念致シマスルト共
ニ、遺族ノ方々ニ對シマシテ、心カラ同情
ノ哀ヲ披瀝スルモノデアリマス(拍手)
今ヤ 御秘威ノ下、大東亞ニ於ケル帝國ノ
戰略的必勝ノ態勢ハ日ニ々々強化セラレ、
大東亞ニ於ケル巨大ナル資源ハ急速ニ戰力
化セラレテ居ルノデアリマス、大東亞ニ於
ケル此ノ態勢ハ、正ニ米英ノ死命ヲ制スル
モノデアリマス、米英ハ今更ナガラ其ノ進
展ノ急速ナルニ愕然トシ、極力之ヲ阻止妨
碍センコトヲ期シ、唯一ノ恃ミトスル物質
力ノ全力ヲ擧ゲ、而モ手段ヲ擇バズ、更ニ
凡ニ爾等謀ヲ廻ラシ、頻リニ反攻ノ氣勢ヲ
示スニ至ツタノデアリマス

併シテナガラ斯クノ如キハ帝國ノ當然豫期
シテ居ツタ所デアリマス、皇軍ハ敵ノ此ノ
反攻ノ機ヲ捉ヘ、隨處ニ之ヲ擊攘スルハ固
ヨリ、更ニ敵屈服ノ手段ヲ進メテ居ルノデ
アリマス、現ニ皇軍ハ支那方面ニ於テ、印
緬國境方面ニ於テ、將又太平洋ノ各方面ニ
互リ雄渾ナル作戰ヲ展開シ、更ニ敵ニ對シ
益々深刻ナル打擊ヲ加ヘントシテ居ルノデ
アリマス、斯クシテ戰局ハ愈々重大ヲ加ヘ、
反覆スル戰闘ハ益々激烈凄壯ノ度ヲ加フル
ニ至ツタノデアリマス、大東亞ニ於ケル必
勝ノ態勢ニ立チ、一億國民方國難ノ加ハル
毎ニ愈々燃ニ上ル必勝ノ信念ヲ以テ、忠烈ナ
ル傳統ノ國民性ノ眞價ヲ發揮スルノ秋ハ、
正ニ到來致シタノデアリマス(拍手)

以上ノ情勢ニ對處シ、私ハ國民諸君ト共
ニ、敵米英ノ内ニ秘メタル深刻ナル苦惱ヲ
見逃スコトナク、愈々必勝ノ確信ヲ下ニ、飽
クマゴモ全力ヲ盡シテ、米英屈服ノ最後ノ
日マデ、意志ト意志トノ戰ヒヲ戰ヒ拔キ、
勝チ抜イテ、以テ 聖慮ヲ安ンジ奉ランコ
トヲ期スル次第デアリマス(拍手)

現下大東亞ノ動向ヲ大觀致シマスルニ、
諸國家、諸民族ノ帝國ニ對スル信賴、大東
亞戰爭完遂ニ對スル眞摯ニシテ自發的ナル
協力ハ、日ニ月ニ其ノ力ヲ加ヘテ居ルノデ
アリマス、私ハ最近中華民族、滿洲國及ビ
比島ヲ訪問致シ、親シク現地ノ實相ニ觸
レ、要路ノ人々トモ隔意ナキ懇談ヲ遂グル
機會ヲ得、愈々此ノ確信ヲ強ク致シタノデア
リマス

申スマデモナク大東亞ノ米英ノ多年ノ桎梏
ヨリ永久ニ解放シ、其ノ本然ノ姿ニ歸ラシ
メント致シマスルコトハ、帝國不動ノ大方
針デアリマス、帝國ノ施策ハ此ノ大方針ニ
則リ、終始一貫シテ今日ニ及ンデ居ルノデ
アリマス、大東亞戰爭勃發以來一年有半、
今ヤ大東亞十億ノ民衆ハ、我が眞意ヲ了解
シ、日本ノ大東亞戰爭完遂ヲ期シテ大東亞
ノ解放ヲ、新シキ大東亞ノ建設ヲ期シテ、
大東亞民衆ノ福祉ヲシテ確信ガ、澎湃
トシテ起リツアルノデアリマス(拍手)洵
ニ大東亞ノ爲メ御同慶ニ堪ヘヌ次第デアリ
マス

以上ノ如キ情勢ニ對處致シマシテ、帝國
ト致シマシテハ、諸國家、諸民族ノ誠意ト
協力トニ應ヘ、此ノ際ニ新ナル施策ニ
出ヅルコトヲ必要ト考ヘテ居ルノデアリマ
ス、今其ノ主要ナルモノニ付キ政府ノ所信
ヲ率直ニ申上ゲタイト存ジマス

滿洲國ニ付キマシテハ、同國ハ帝國ヲ視
ルニ親邦ヲ以テシ、畏クモ皇帝陛下御射ラ
率先御垂範遊バサレ、國民上下一致、帝國
ニ對スル物心兩方面ノ協力洵ニ大ナルモノ
ガアリ、兩國ノ交誼ハ眞ニ固然スル所ガナ
イノデアリマス、帝國ト致シマシテハ益々其

ノ信倚ニ應ヘ、其ノ健全ナル發達ニ愈々力
ヲ效サントシテ居ルノデアリマス
中華民國ニ付キマシテハ、汪主席以下官
民共ニ、今ヤ帝國ノ誠意アル態度ニ心カラ
共鳴シ、日華共同宣言ノ精神ヲ下ニ、目下
相携ヘテ着々トシテ共同ノ目的ニ邁進シツ
ツアルノデアリマス、百年ノ久シキニ互リ、
米英ノ世界制覇ノ野望ニ塗炭ノ苦シミヲ重
ネテ參リマシタル中華民國ハ、今ヤ其ノ羈
絆ヲ脱シ、自強ノ途ヲ講ジ、完全ナル自獨立
立ノ國家トシテ、帝國ト相俱ニ新シキ大東
亞建設ニ、其ノ大イナル實力ヲ發揮セント
シテ居ルノデアリマス(拍手)

斯クテ中國民衆多年ノ宿望タル中國人ノ
中國ノ理想ハ、正ニ達成セラレツツアルノ
デアリマス、最近羅炳勳、孫殿英、榮子恒等ノ
將軍ヲ初メトシ、幾多ノ人士ガ踵ヲ接シテ
重慶政權ノ傘下ヲ離レ、汪主席ト行動ヲ共
ニスルニ至リツツアリマスルコトモ、中國
更生ノ當然ノ歸趨ヲ如實ニ示スモノデアリ
マス、此ノ中國ノ興隆ハ、中國ノ爲メ大東
亞ノ爲メ、將又世界人類ノ爲メ、洵ニ慶祝ニ
堪ヘヌ次第デアリマス(拍手)此ノ秋ニ方リ
帝國ハ此ノ由中華民國ノ興隆ヲ心ヨリ祝福ス
ルト共ニ、今後愈々之ヲ支援スルノ決意ヲ
深クシ、進ンデ日華間ノ條約ニ根柢的ナル
改訂ヲ加ヘ、兩國ノ協力ノ態勢ニ更ニ一歩
ヲ進メントスルモノデアリマス

「タイ」國ニ付キマシテハ、同國ガ多年米英
トノ複雜關係ヲ一擲シ、敢然トシ
テ帝國ト行フ共ニシ、「ピピン」首相統率ノ
下ニ、幾多ノ困難障礙ヲ克服シツツ、一路
大東亞戰爭完遂ニ邁進シテ居ルノデアリマ
ス、之ニ對シ私ハ深ク敬意ヲ表スル次第デア
リマス、帝國ハ同國トノ提携ヲ今後愈々密
ニシ、同國ノ軍事、經濟、文化等各方面ニ
互リ、更ニ一段ノ協力ヲ致サンコトヲ深ク
期シ、同國民多年ノ宿望ニモ鑑ミ、同國ノ
發展ノ爲メ、新ナル協力ヲナスノ用意ア
ルコトヲ、茲ニ表明スルモノデアリマス
(拍手)

「ビルマ」ニ付キマシテハ、御承知ノ通り
去ル三月「パーモ」長官ヲ帝國ニ迎ヘ、帝國
ノ決意ヲ傳ヘタノデアリマス、「パーモ」長
官以下各指導者ノ「ビルマ」ノ獨立竝ニ大東
亞戰爭完遂協力ニ關スル眞劍ナル決意ノ程
ヲ感得スルコトガ出來マシタコトハ、諸君
御存ジノ通りデアリマス、而シテ既ニ五月
八日獨立準備委員會ガ結成セラレ、着々ト
シテ獨立準備ノ進捗シツツアリマスルコト
ハ慶祝ノ至リデアリマス(拍手)私ハ日ナラ
ズシテ其準備モ完了シ、歴史的光榮ノ日ノ
速カナルコトヲ強ク期待スルモノデアリマ
ス(拍手)

比島ニ付キマシテハ、「バルガス」長官以
下要路ノ人々ガ、身ヲ挺シテ比島再建ト、
大東亞戰爭完遂協力ノ爲メ努力シ、一般民
衆モ亦逐次帝國ノ眞意ヲ了解シテ、積極的
ニ協力シツツアルノデアリマス、比島獨立
ニ關スル帝國ノ態度ハ異次ノ聲明ニ依リ既
ニ明カナル所デアリマスルガ、帝國ハ此ノ
際更ニ一歩ヲ進メテ、本年申ニ比島ニ獨立
ノ榮譽ヲ與ヘントスルモノナルコトヲ茲ニ
中外ニ宣明スルモノデアリマス(拍手)

嘗テ米國ノ不信ナル支配ノ下ニ、空シク
獨立ノ幻影ヲ逐ウテ居リマシタル比島民衆
ハ、大東亞戰爭勃發以來、未ダ二箇年ニモ
滿タザルニ、早クモ茲ニ多年ノ宿望ヲ達セ
ントシテ居ルノデアリマス、私ハ比島民衆
ノ感激ニ思ヒヲ致シ、比島ノ爲メ、又大東
亞ノ爲メ眞ニ慶祝ニ堪ヘナイ次第デアリマ
ス(拍手)

尙ホ「マライ」、「スマトラ」、「ジャワ」、「ボル
ネオ」、「セレベス」等ノ原住民ハ、皇軍ノ軍
政下ニ營々トシテ協力ノ度ヲ増大シツツア
ルノデアリマス、即チ戰争下ニ於キマシテ
モ、既ニ彼等ハ現地皇軍ノ心カラナル指導
ニ依リ、從來ノ精神的壓迫ヨリ解放セラレ、
現ニ教育、其ノ他各種ノ文化的恩惠ニ浴シ、
未ダ嘗テナキ希望ニ滿チタル生活ヲ營ンデ
居ルノデアリマス、「インドネシア」民衆ノ
爲メ、洵ニ欣快ニ存ズル次第デアリマス、

以上ノ如キ情勢ニ對處致シマシテ、帝國
ト致シマシテハ、諸國家、諸民族ノ誠意ト
協力トニ應ヘ、此ノ際ニ新ナル施策ニ
出ヅルコトヲ必要ト考ヘテ居ルノデアリマ
ス、今其ノ主要ナルモノニ付キ政府ノ所信
ヲ率直ニ申上ゲタイト存ジマス

帝國ハ此ノ際更ニ進シテ原住民ノ余願ニ基キ、ソレノノ民度ニ應ジテ、本年中心ニハ原住民ノ政治參與ニ關スル措置ヲ遂次執ツテ參ル所存デアリマス(拍手)就中「ジャワ」ニ付キマシテハ、其ノ民度ニ鑑ミ、民衆ノ興望ニ應ヘテ、能ク限リ速カニ是ガ實現ヲ期セシトスルモノデアリマス

佛印ニ付キマシテハ、佛印當局ハ複雜ナル情勢ノ下ニ華處政シテ居ルノデアリマスルガ、帝國ハ共同防衛ニ關スル日佛議定書ノ精神ニ基キ、佛印トノ愈々緊密ナル提携ヲ圖ラントスルモノデアリマス

以上ノ如クシテ、萬邦ヲシテ各、其ノ所ヲ得シメ、兆民ヲシテ悉ク其ノ堵ニ安ンゼシムル我ガ肇國ノ大理想ハ、着々トシテ大東亞ノ天地ニ具現セラレ、多年米英ノ飽クナキ擧取ニ惱メル東亞ノ民衆ニ輝カシキ黎明ハ來ツタノデアリマス(拍手)斯クシテ大東亞ノ諸國家、諸民族ガ、逞マシキ發展ヲ爲シツツアルニ比較政シマシテ、「インド」ガ尙ホ英國ノ苛酷ナル彈壓ノ下ニ、獨立完成ノ爲メ大イナル苦シミヲ嘗メツツアリマスルコトニ對シマシテハ、私ハ衷心ヨリ同情ノ意ヲ表スルト共ニ、憤リヲ感ズル者デアリマス(拍手)

帝國ハ「インド」民衆ノ敵タル米英ノ勢力ヲ「インド」ヨリ驅逐シ、眞ニ獨立「インド」ノ完成ノ爲メ、凡ユル手段ヲ盡スベキ牢固タル決意ヲ持ツテ居ルノデアリマス(拍手)而シテ澎湃タル「インド」民衆ノ熱望ハ必ズヤ實現セラレ、米英勢力ハ驅逐セラレ、「インド」ノ自由ト繁榮トノ齋ヲサレル日ノ遠カラザルコトヲ私ハ信ジ、且ツ其ノ一日モ速カナラント期待スルモノデアリマス(拍手)

歐州ニ對シテ歐洲ノ形勢ヲ見マスルニ、獨伊ヲ初メ盟邦諸國ハ帝國トノ結束愈々固ク、一路最後ノ勝利ニ向ツテ邁進シテ居ルノデアリマス、今日マデニ築キ上ゲタル必勝ノ地位ト、不動ノ指障力トノ下ニ行ハルル獨伊等歐洲盟邦諸國ノ雄渾ナル戰雲遂行ニ對シ、私

ハ其ノ成功ヲ確信スルモノデアリマス、帝國ト致シマシテハ、今後共愈々緊密ナル連繫ヲ援ノ下ニ、相俱ニ飽クマデモ米英ヲ擧推センコトヲ誓フモノデアリマス(拍手)

今ヤ敵米英ハ目的ノ爲ニハ手段ヲ擇バズ、到ル處平和ヲ擧シ、隨處ニ禍亂ヲ擴大シ、中立國ヲ禍ニ推キ込マント狂弄致シテ居ルノデアリマス、彼等ノ他國ヲ誘ツテ共ニ戰フヤ、自ラハ直接ノ慘禍ヲ避ケテ、他國ヲ其ノ矢面ニ立テ、而モ戰ヒ一タビ利アラザレバ、之ヲ繁履ノ如ク棄テテ顧ミズ、嘗テノ宣言、約束ノ如キハ唯一片ノ反古トシテ葬リ去ツテ居ルノデアリマス、曩ニハ小國ノ爲ニ其ノ獨立擁護ヲ叫ビ、今ヤ掌ヲ反シテ大國ノ爲ニ其ノ專制支配ヲ唱ヘ、其ノ間何等ノ操守ナク、専ラ他國ノ犠牲ニ於テ自國ノ安逸ヲ貪リ、而モ恬トシテ恥ヂナイノデアリマス、此ノ暴虐無慘ナル行動ニ對シマシテハ、神人俱ニ許サザル所デアリマス(拍手)尙ホ是等ノ策謀ニモ拘ラズ、中立ヲ堅持シツツアル國々ニ對シマシテ、私ハ茲ニ深く敬意ヲ表スル次第デアリマス、而シテ帝國ト是等ノ國々トハ、極メテ友好ナル關係ヲ持續シテ居ルノデアリマス、今後愈々親密ナラント祈念スルモノデアリマス

今ヤ内外ノ情勢洵ニ重大デアリマス、此ノ重大ナル情勢下ニ於テ、一億國民ハ擧ゲテ皇民タルノ本分ヲ全ウスベク、戰意ヲ新タニシテ居ルノデアリマス、戰場ノ將兵ノ心ヲ心トシ、全力ヲ盡シテ一路征戰完勝ニ突進スルノ誓ヒヲ新タニシテ居ルノデアリマス

此ノ秋ニ方リ、政府ハ一億國民ノ陣頭ニ挺身シ、此ノ新タニセル誓ヒヲ必ズ實踐ニ移サンコトヲ期スルモノデアリマス、作戰ニ必勝シ、確設ニ必成シ、以テ此ノ大戰爭ヲ完遂スル爲ニハ、政府ハ國ノ内外ヲ問ハズ、如何ナル妨害モ、如何ナル障礙モ斷々乎トシテ、之ヲ突破克服セントスルモノデアリマス、幸ヒ生産ノ現況ハ、國民諸君ノ熱意

ト努力トニ依リ、昨年末ヨリ著シク改善増強ノ跡ヲ示シテ居ルノデアリマス、政府ハ此ノ上トモ官民一致決戰能勢ヲ強化シ、國ヲ擧ゲテ更ニ戰力増強ノ一點ニ集中セントスルモノデアリマス

政府ガ今回臨時ニ帝國議會ノ開會ヲ奏請致シマシテ、企業整備、食糧緊急増産等ニ關スル豫算案及ビ法律案ヲ提出致シマシタノモ、實ニ以上ノ極旨ニ出デタモノデアリマス、今次ノ企業整備ハ決戰下更ニ直接戰力ノ急速増強ノ爲メ、從來ノ企業整備ノ趣旨ヲ擴充シ、産業ノ各分野ニ互リ徹底的ナル整備ヲ行ヒ、國民ノ悉クヲシテ戰力増強ニ容與セシメントスルモノデアリマス、而シテ是ガ圓滑ナル遂行ヲ期スル爲ニハ國民全般ノ協力ヲ絕對必要トスルノデアリマシテ、國民諸君ハ十分政府ノ意ノアル所ヲ諒トセラレ、一日モ早く整備ヲ完了シ、適材適所、各自ノ能力ヲ遺憾ナク發揮シ得ル如ク、積極的ニ協力セラレシテ願フテ已マナイ次第デアリマス(拍手)又今次ノ措置ニ伴ヒ數十億ノ金額ガ放出セラルルコトナルノデアリマス、此ノ莫大ナル資金ノ撒布ニ對スル爲メ、特ニ企業整備資金措置法案ヲ提出致シタ次第デアリマス、固ヨリ一億國民ハ貯蓄ノ増強ニ、消費ノ節約ニ努力シテ居ルノデアリマス、更ニ此ノ際浮動購買力ノ抑制、國家經濟秩序ノ維持等ニ付キ此ノ上下トモ一層ノ力ヲ傾注セラレタイノデアリマス

又戰時國民生活ノ確保ニ必要ナル食糧ニ付キマシテハ、固ヨリ政府ト致シマシテモ萬全ノ措置ヲ講ジテ居ルノデアリマス、併シナガラ戰爭ノ現段階ニ於テハ常ニ凡ユル事態ヲ考慮シ、食糧ノ自給自足ノ爲メ格段ノ力ヲ效サナケレバナラヌノデアリマス、政府ハ此ノ趣旨ニ基キ米麥ノミナラズ、甘藷、馬鈴薯等ヲも含メテ劃期的ノ増産ヲ圖ルコトトシ、以テ決戰下ノ食糧ニ關シ、更ニ磐石ノ態勢ヲ整ヘンコトヲ期スル所存デアリマス

尙ホ政府ハ此ノ上トモ敏速果斷ナル行政ノ運営ヲ圖ルト共ニ、戰爭遂行ニ直接關係ナキモノハ悉ク之ヲ中止又ハ廢止シ、官民共ニ全力ヲ擧ゲテ生産ニ動員シ、以テ戰勝ノ一途ニ邁進センコトヲ期シテ居ルノデアリマス、今回政府ガ府縣議員ノ選舉等モ之ヲ行ハザルコトトシ、之ニ關スル法律案ヲ提出致シタノモ此ノ趣旨ニ出ヅルモノデアリマス

以上由述ベマシタル政府ノ所信ヲ了解セラレマシテ、政府提出ノ豫算案及ビ法律案ニ付キマシテ何卒御審議ノ上速カニ協贊ヲ與ヘラレシコトヲ切望スル次第デアリマス(拍手)

陸軍大臣海軍大臣ノ戰況ニ關スル報告

○議長(岡田忠彥君) 陸軍大臣及ビ海軍大臣ヨリ戰況ニ關シ報告ノ爲メ發言ヲ求めラレテ居リマス——陸軍大臣東條英機君

陸軍大臣東條英機君登壇

○國務大臣(東條英機君) 昨年十二月本議場ニ於キマシテ説明ヲ致シマシタ以後ニ於ケル陸軍ノ戰況ニ付キマシテ申上ゲマス

南太平洋ノ空ニ於テ去ル四月散華セラレマシタル故山本元帥ノ英靈ニ對シマシテ、全陸軍將兵ハ齊シク敬用ノ誠ヲ捧ゲマスルト共ニ、故元帥千載不滅ノ偉功ヲ偲ビマシテ、今更ニ景仰痛惜ノ情ニ堪ヘナイ次第デアリマス(拍手)

次ニ御承知ノ如ク最近「至リ」アツツ島ニ於キマシテ、壯絶ナル戰鬪ガ行ハレタノデアリマス、山崎部隊長以下「アツツ」島守備隊將兵ノ盡忠ニ對シ寄セラレマシタル朝野ノ厚キ御同情ニ對シマシテ、茲ニ謹シク感謝ノ意ヲ表スル次第デアリマス(拍手)